

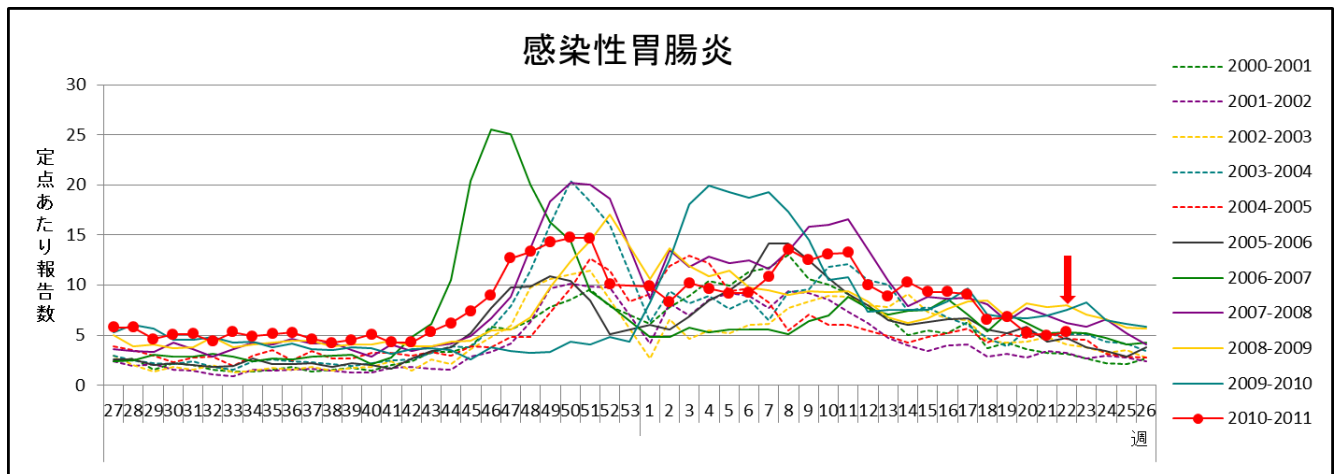
# 感染性胃腸炎情報

## 2011 年 第 22 週 ( 5 月 30 日 ~ 6 月 5 日 )

第 22 週 ( 5 月 30 日 ~ 6 月 5 日 ) の、県内の定点医療機関 ( 54 定点 ) からの患者数は、前週より増加しました ( 268 → 288 人 定点あたり 4.96 → 5.33 人 )。備前地域 ( 定点あたり 6.30 → 9.10 人 )、真庭地域 ( 定点あたり 5.50 → 7.00 人 ) での発生が増えました。

冬から春にかけてはウイルスによる胃腸炎が多く見られますが、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、病原性大腸菌やサルモネラなどの食中毒菌による胃腸炎に、特に注意が必要です。

体調を崩しやすい時期です。外出後や食事前の手洗いを励行し、感染を予防しましょう。患者の吐物や便、おむつの取り扱いに注意し、二次感染にも気をつけましょう。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

### 岡山県地区別 感染症マップ 感染性胃腸炎 2011 年 22 週

22 週 5/30 ~ 6/5

21 週 5/23 ~ 5/29

20 週 5/16 ~ 5/22

19 週 5/9 ~ 5/15



#### 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。